



2026



CSR REPORT



次世代のために、社会に資する。



SEIYUKOGYO

Purpose / 目的

次世代のために、 社会に資する。

いかなる時代においても、
人々に必要とされる存在となり、
常に次の世代が幸せに暮らせる
社会を創造していくために。

私たちは、先を見据え、
社会に資する仕事を志します。

この志と誇りを胸に抱き、
私たち成友興業は、
より良い未来への道を切り拓き続けます。

Mission / 使命

地球環境にやさしい
都市更新を支える企業を目指す。

Value / 行動指針

〔Think ahead〕

常にその先を見据え、行動しよう

〔Safe〕

法令を遵守し、業務を安全に遂行しよう

〔Team〕

認め合い、グループ全体で団結しよう

グループの結束が、次世代を支える力になる。

成友興業グループは、各社が持つ専門性を結集することで、
より迅速に、より確かなかたちで社会に貢献できる体制へと進化しています。



会社概要

商号：成友興業株式会社
設立：1975年3月12日
本社：東京都あきる野市草花 1141-1
資本金：375,382千円(2025年9月現在)
従業員数：368名(グループ連結)
グループ会社：成友セキュリティ株式会社
(東京都福生市福生 699-3)
令友工業株式会社
(東京都あきる野市草花 1141-1)
木本建興株式会社
(神奈川県相模原市中央区中央 3-3-15)
成友エコプラスワン株式会社
(東京都西多摩郡日の出町平井 22-10)
成友マテリアルワン株式会社
(東京都墨田区堤通 1-19-9-10階)
株式会社 武蔵野トランスポート
(東京都武蔵野市八幡町 1-5-2)

成友興業 営業所一覧

- ・東京本店(東京都中央区)
- 環境事業
- ・城南島第一工場(東京都大田区)
- ・城南島第二工場(東京都大田区)
- ・あきる野工場(東京都あきる野市)
- ・青梅事業所(東京都青梅市)
- 建設事業
- ・城東事業所(東京都墨田区)
- ・多摩北事業所(東京都武蔵野市)
- ・多摩西事業所(東京都あきる野市)
- ・福生営業所(東京都福生市)
- ・埼玉営業所(埼玉県所沢市)
- 環境エンジニアリング事業
- ・東京南事業所(東京都大田区)
- ・分析センター(東京都大田区)

成友興業グループは、
次世代の街を支えています。

成友興業
建設事業

→ 詳しくはP08～

成友セキュリティ
株式会社

→ 詳しくはP15

令友工業
株式会社

→ 詳しくはP15

木本建興
株式会社

→ 詳しくはP14

成友興業
環境エンジニアリング事業

→ 詳しくはP12～

成友興業
環境事業

→ 詳しくはP10～

成友マテリアルワン
株式会社

→ 詳しくはP15

成友エコプラスワン
株式会社

→ 詳しくはP14

株式会社
武蔵野トランスポート

→ 詳しくはP15

Contents

06	成友興業の歴史
08	建設事業
10	環境事業
12	環境エンジニアリング事業

14	木本建興 / 成友エコプラスワン
15	武蔵野トランスポート / 令友工業 成友マテリアルワン / 成友セキュリティ

16	We Love SEIYU KOGYO
18	若手サイコロトーク
20	SEIYU BEST AWARD 2025
22	安全への取り組み

23	環境への取り組み
24	コーポレートガバナンス
25	株主・取引先との建設的な対話に関する方針
26	トップメッセージ

社会に資する、 成友興業の50年

1975年、建設資材の運搬業から始まった成友興業の歴史。
現在では、大型の工事を担えるまでに成長し、
革新的な技術で循環型社会の実現に向けた挑戦を続けています。
これからの50年も、次代の礎を築き、より良い未来へとつながる道を切り拓いていきます。



※2024年9月期より、成友興業単体からグループ連結の数字に変更しております。



監理技術者 施工計画や工程・品質管理を担い、工事全体の技術的な管理と監督を行う。
現場代理人 工事現場に常駐し、工程・安全・調整を含めた現場全体の運営を担う。

Project Story

道をつくるだけではない、 都市全体を更新するプロジェクト。

今回のプロジェクトは、多摩地域の南北を結ぶ主要幹線道路の整備を通じて、安全で円滑な移動と防災機能の強化を図り、街の持続的な発展を支える工事です。現場の最前線では、当社の若手社員が地域の声に耳を傾けながら、一つひとつの工程に向き合い、地域の暮らしと未来を支える持続可能な都市基盤づくりに取り組んでいます。

— この現場は、地域にどのような価値を残す仕事だと思いますか？

K.D：この工事は、延長約1km・工期約2年におよぶ社内最大級の新設道路工事です。場所によっては幅約40m、4車線になる大規模な道路ですが、ただ長い道をつくることが目的ではありません。道路をきっかけに、地域コミュニティも変化するプロジェクト。開通後は歩道が広がり、自転車と歩行者の動線も分かります。日常の危険が減り、安全性や渋滞の面でも効果が出てくるはずですよ。

M.J：電線類を地中化（無電柱化）して、歩道と自転車道の間には植栽も入る予定です。景観としても「新しい道になった」と感じてもらえる道路になると思います。災害時に電柱が倒れて通行の妨げになるリスクも減らせます。安全面と景観の両面で、地域に長く残る価値のある工事だと感じています。



— この現場の社会的な意義はどこにあると思いますか。

M.J：この道路は、完成すれば何十年も使われ続けます。地域全体、そして次の世代を支える社会基盤として残っていく。それだけで、この現場の社会的な意義があると思います。



K.D：開通したら周囲の渋滞も緩和されると思います。道路は、都市が機能し続けるための前提条件の一つです。人や物の流れを滞らせないことで、経済や日常生活が安定する。そうした社会の土台を整える役割を担っている点に、この現場の意義があると思います。

H.T：この現場が完成したあとも、長い間使われ続けると考えると、自分の仕事が社会の一部として残っていく感

覚があります。まだ一年目ですが、誰かの毎日を支える基盤づくりに関わっていることが、この仕事の意義だと感じています。

— この仕事のやりがいは、どんな瞬間に感じますか？

M.J：やっぱり開通した時ですね。前の現場で開通式があって、地域の方が集まって、拍手が起きた瞬間があった。ニュースにもなりました。ああいう時は、誇らしい気持ちになりますね。

K.D：僕たちがやっているのは、ただつくって終わりの仕事ではありません。日常の混雑や危険を減らし、暮らしを少しずつ変えていく仕事です。だからこそ、完成した道が使われているのを見ると、やりがいを感じます。

H.T：道路って、普段は当たり前にあるものですよね。だから直接感謝されることは少ない。でも、自分たちがつくった道で暮らしが良くなっていくなら、それはすごく意味のある仕事だと思っています。

— 最後に、これからの目標を教えてください。

M.J：まずはこの現場をしっかりまとめ切ること。こういう大規模な現場を、もっと上手く回せるようになっていきたいです。

K.D：こうした大規模現場を任せられる中心的な存在になりたい。現場全体を盛り上げていきたいですね。

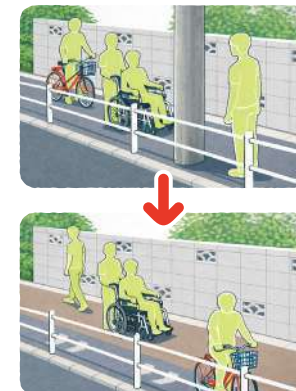
H.T：僕はまず、数年以内に一人で現場を持てるようになりたいです。お二人を見て学んで、追いつけるように成長して資格も取得したいと思います。



【安心・安全で快適なまちづくり】

誰にとっても 歩きやすい道へ

無電柱化と自転車通行空間の整備により、歩道にゆとりが生まれ、ベビーカーや車椅子でも安心して通行できます。



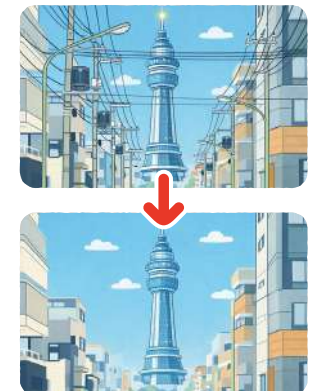
もしもの時にも 街が止まらない

電柱が倒れて、緊急車両の通行を妨げることがなくなります。電気や電話などのライフラインも守られます。



美しい街並みを 一望できる

無電柱化により視界がひらけ、美しい街並みを一望できる景観が広がります。





2025年入社
環境事業部
営業 T.W

2025年入社
環境事業部
営業 M.R

建設汚泥や汚染土壌を再資源化し、日本を支えるセメントへ。

当社が全国のセメント工場へ納品し再資源化される建設汚泥・汚染土壌は、年間約31万トン。これは、全国のセメント工場で再資源化される汚泥・汚染土壌の約9%を占めています。



年間52万トン！解体コンクリートをよみがえらせる。

あきる野工場、城南島第一工場および成友マテリアルワン(株)では、解体コンクリート塊を受け入れ、破碎処理し、主に道路の路盤材となる再生砕石を製造しています。



災害時にも必要とされる、社会インフラの一翼を担う仕事。

— 環境営業の仕事について教えてください。

T.W：建設現場から発注する汚染土壌やコンクリートガラなどの廃棄物の受け入れと、リサイクル品の営業をしています。お客様のところに伺って話をし、見積書を作って、契約書を用意して、工場と調整して…。受け入れまで、全てに責任を持つ仕事です。

M.R：見積書や契約書は自分で作りますし、特に大事なのが工場との調整です。「この量を、このタイミングで受け入れられるか」などをきちんとすり合わせて、お客様と工場をつなぐ責任のある役割を担っています。



— この仕事ならではのやりがいを感じる瞬間は、どんなときですか？

TW：知識が増えてきて、それを実際の仕事の中で使えたときです。「あ、分かってきたかも」って成長を感じられる瞬間が、ちょっと面白いですね。

M.R：産業廃棄物の処理って、なくてはならない仕事ですよ。私は、お客様から信頼して任せてもらえたときや、災害時にも必要とされるインフラ

の一部を担っていると感じたときに、「この仕事を選んでよかったな」って思います。



「もしも」に備える力を、育てる

東京都の災害廃棄物専門人材育成プログラムの一環として、城南島工場にて見学会を開催。大規模災害発生時に備え、迅速かつ的確な対応につながる学びの場を提供しました。



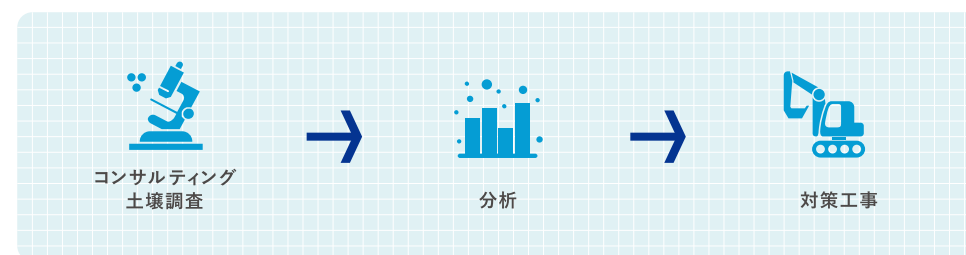
次世代へ、美しい砂浜を

「ビーチクリーンアップ in 城南島 2025」に、東京スーパーエコタウン協議会の一員として参加。当協議会から71名が参加し、砂浜の清掃活動を行いました。





土壌汚染の調査から工事までワンストップで担う、 環境エンジニアリングの現場。



— 環境エンジニアリング事業部は、どんな仕事をしている部署ですか？

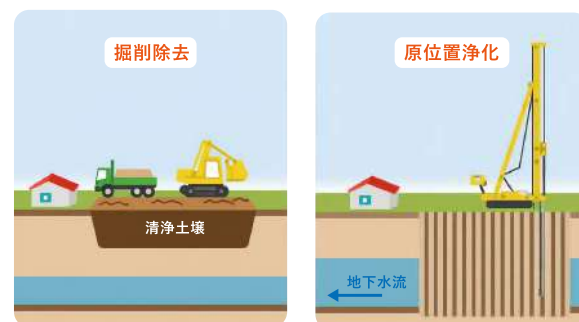
K.R：建物や道路をつくる工事の前段階を担う仕事ですね。まず調査で、「どこに・どの範囲で・どの程度の汚染があるか」を明らかにします。基準を超えていれば、汚染土壌を取り除いたり、土を入れ替えたりする。表に出る仕事ではありませんが、工事の土台を支える重要な役割だと思っています。

S.S：土壌汚染に関わる調査・分析・対策工事です。調査で土を採取して分析し、必要があれば対策工事まで行います。計画立案から報告書作成までの調査業務に加え、施工管理や行政協議、届出対応も担当します。

負の資産を価値ある資産へ。

土壌汚染対策工事とは？

調査・分析を経て汚染土壌を除去し、次の建設工事に向けて土地を安全な状態に整える工事です。当社では、汚染の拡大を防ぐ対策と汚染源そのものを取り除く対策を組み合わせ実施しています。



— これまでのキャリアを教えてください。

K.R：最初の2年は環境事業部で、土壌や廃棄物の分析と品質管理を担当していました。調査や対策工事は未経験でしたが、興味があって自分から環境エンジニアリング事業部への異動を希望しました。結果的に、立ち上げのタイミングから関わることになりましたね。

S.S：僕も入社後は工場で品質管理をしていました。文系出身で工事や調査は未知の分野でしたが、「やってみたい」と話したところ、3年目に環境エンジニアリング事業部へ配属されました。

— お二人とも、大手ゼネコンへの出向を経験されていますよね。

K.R：はい。入社6年目で出向しました。大規模現場や遠方現場への出張など、自社では経験できない業務に携わり、仕事の幅を広げることができました。出向後に自社へ戻り、調査・工事・行政対応まで一連を担当した現場を完工できたときは、自身の成長を感じました。

S.S：僕は現在も出向中です。自社とは、規模の違う現場で、多くのことを学んでいます。



K.R：入社4年目って、かなり早い段階での出向だね。

S.S：そうですね。「行ってみたい」と言ったら、強く背中を押してもらえて。こんな若いうちから、挑戦させてもらえる会社なんだと改めて思いましたね。

K.R：そこが、成友興業らしいところかもね。



業界最速の 分析結果をもとめて



分析センターの主な業務

1

環境計量証明事業

土壌・水質調査に必要な各種分析を実施しています。汚染土壌・建設汚泥・建設発生土の分析を通じて、現場における適切な判断を支えています。

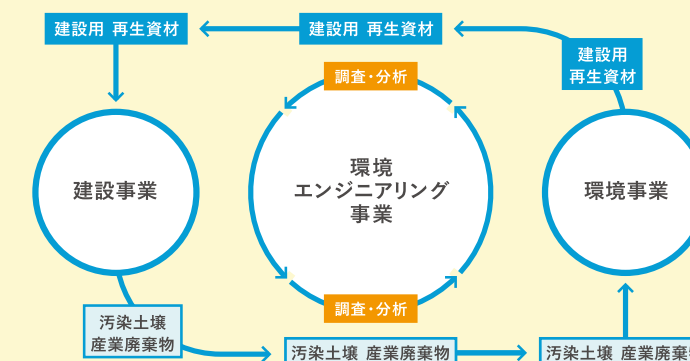
2

リサイクル品の品質管理試験

製品化される浄化済土壌などの品質管理を徹底しています。工場併設による迅速な分析体制のもと、安全性と品質が安定したリサイクル製品を出荷しています。

リサイクル率 100%を目指して e Synergy System

建設現場で発生したコンクリートがら・建設汚泥・汚染土壌を自社で調査・分析し、再生して建設現場へ戻す。成友興業ならではの循環型ワンストップ体制。



下水道・水道工事を中心に、一般土木工事や災害復旧工事など、地域のインフラを支える建設会社。年齢や性別、学歴にとらわれないフラットな組織のもと、資格取得や専門学校への通学費用を会社が全面的に支援。その姿勢は、さがみはらSDGsパートナーに登録され、地域と人、そして未来に責任を持つ仕事を続けています。

ゼロから始まり、 現場の中心へ。

私は約2年前、未経験で入社しました。最初は分からないことだらけ。それでも、現場代理人のそばで仕事を重ねるうちに、前は意味も分からなかった図面が少しずつ読めるようになり、現場全体の流れも見えてきました。できることが増えるたびに、「この仕事、面白い」と思えるようになっていきます。将来は、現場代理人として、一つの現場を最後まで任される存在になることが目標です。人の暮らしを支えるインフラを、自分の責任でつくり上げていきたいと考えています。



設立
事業内容
従業員数

1977年7月1日

土木工事業、水道工事業 他
23人(積極採用中)



コーポレートサイト



2026年5月新社屋完成予定



舗装・土木工事で、 街の明日を支える。



官公庁から請け負う舗装工事、一般土木工事、下水道施設工事を主力事業とする建設会社です。主に東京都多摩地域で事業を展開しています。



インフラ工事で、 暮らしの基盤を築く。

REIYU



コーポレートサイト

土木工事や舗装工事などを手がける建設会社です。ICTや3Dスキャン技術を提供し、生産性の向上と働きやすい現場づくりに貢献しています。

建設現場から発生する建設混合廃棄物・産業廃棄物について、収集運搬から中間処理までを一貫して担う会社です。多摩地域最大規模の処理能力と、都心からの高いアクセス性を強みに、循環型社会の実現を支えています。また、資源化等情報適正開示施設(I.D.Plant)を全国で初めて取得するなど、透明性の高い事業運営を実践。さらに、健康経営優良法人2025にも認定され、地域に根ざした先進的な取り組みが評価されています。

循環型社会の実現とともに、 自分も前に進む。

私は約5年前、サラリーマン経験もほとんどない状態で入社しました。地元で働きたいという想いと、環境に関わる仕事がしたいという気持ちが重なり、この仕事を選びました。新規の現場が増え、廃棄物が分別・処理されて次につながっていく。その流れの中で、社会や環境に役立っている実感を持てることが、この仕事のやりがいです。環境への関心が高まる今、会社は成長の途中にあります。自分自身も、この会社と一緒に成長していきたいと思っています。



設立
事業内容
従業員数

1999年1月18日

産業廃棄物中間処理業 他
80人(積極採用中)



コーポレートサイト



コンクリートを甦らせ、 未来の道をつくる。



コーポレートサイト

建設現場などから搬出される解体コンクリート塊を受け入れ、破碎処理することで、道路の路盤材などに使われる再生砕石を製造する中間処理会社です。こうした再生資材の製造を通じて、資源の有効利用や廃棄物の削減に取り組んでいます。



現場の安心を、 最前線で守る。



コーポレートサイト

交通誘導警備やイベント警備を中心に、人や車両の安全を守る警備会社です。東京都を中心とした地域密着の体制と、実践的な教育による確かな警備力で、現場に安心と安全を提供しています。

若手が成長できる会社だと思う

様々なサポートが充実している会社だから、好き。

役職や部署関係なく
話しかけやすい人が多いところ。

サークキュラーエコノミーを意識した経営方針

若い人が多く
接しやすい

社長が社員皆さんの幸せのために
日々頑張っているところ

若手が多くて
明るい事業所だから好きです。

環境を通して
社会に貢献してる
東京本店の
立地条件が
良いところ

若い社員が多く
接しやすい職場だから、
好き。

女性が働きやすい
職場だから好き!

女性活躍推進法に基づく
「えるばし認定」を取得

お給料が高い

若手が多く、
成長している所

みんなやさしいです

将来性のある会社

自然環境に
優しい会社だから。好き

若い人
先輩方が多く
親身に接して下さるところ

職員同士が仲が良く
楽しく仕事ができるところ

挑戦すべき事業内容がある。
成長できるから好き。

社長、先輩達が
親身になって
考えてくれるところ

ビジネスモデルが
時流に乗って、
勢いがあること。

自由に仕事ができる

個性ある
メンバー

休みが
取りやすい環境

休日も多くプライベートが楽しめて、
家族との時間がしっかりとれる。

無理なく働ける環境だから好き!

「長く続けられる」「無理なく働ける」。
その理由は、データが証明しています。

平均勤続年数

9.6年

[2025年度]

女性役員の割合

42.9%

[2025年度]

女性の
育児休業取得率

100%

[2025年度]

常に上を目指している会社だから、好き

無理なく働ける環境だから 好き

成長できる会社

業績が伸びているところ

話しやすいところが好き

無資格でも
挑戦できるところ

働きやすい勤務体制

発展途上の部分が色々あり、
そして勉強材料が点在していて、
思いもよらぬ発見ができることに感謝しています。

上司が信頼できる良い会社だから好き。

若手が活躍できる場があるところが好き。

若いうちから
挑戦できるところが好き

新しいことを沢山経験させてもらえるから、好き。

社内の雰囲気の良いところ

成長企業!

とても働きやすい職場だから、好き。

新しいことに
チャレンジ出来るところ

自由に伸び伸びと
仕事ができるところ

若い世代が
多いところ

優しい人が多い

明るい職場だから好き。

未経験でも挑戦できる。

温かい人が多い

安定して成長している
成長できる企業だから好き

常に前進していく所

社員の姿勢が
活気に満ちている

話しやすいところが好き

メンター・エルダー制度

入社1年目の従業員には、
年齢の近い若手社員が
マンツーマンでサポート

1on1制度

半年に1度、
上長との面談を実施

レクリエーション費用の支給

社内コミュニケーションの活性化や
組織活性化を目的に年4回支給!

安定企業で
福利厚生が
しっかりしているから好き

環境課題に真剣に向き合える会社だから好きです!

若手が多く働きやすい環境

将来性がある会社だから好き!

景気に左右されにくい事業基盤。 3期連続、増収増益!



自分で考えて
仕事を進められるところです。

若手社員が
表に立って
チャレンジできる場所

若い社員が多く、
活気ある環境で
働けるところが魅力

新しいことに
挑戦していく姿勢

会社が成長し続けているところ

成友興業が最強と
社長に代わって言い切れるから、好き

安定企業だから

毎年新卒採用を行っているところ

相談がしやすい

常に上昇志向な会社だから、好き

上場企業で、
信頼性がある

若いうちから活躍できる、
可能性が広がっている

ケルメな人が多いところ

若手が多くて
コミュニケーションが
とりやすいから。

色々な事に
挑戦できる会社だから
好きです

若手が活躍した
職場だから好き

成友興業 若手サイコロトーク

何が出るかな？



S.S
2023年入社。分析、試験業務に加え、技術開発案件の品質管理にも関わり、環境事業を支える。

K.K
2021年入社。建設事業の施工管理として、夜間工事を中心に担当。限られた時間の中で、安全と品質を守る現場に立つ。

M.K
2023年入社。環境エンジニアリング事業部、分析センターに所属。汚染土壌や排水の分析を通じて、土壌汚染対策工事を支える。

N.M
2022年入社。総務部に所属し、新卒・中途採用や研修を担当。成友興業グループの内側を支える役割を担う。

M.Y
2021年入社。建設事業で施工管理を担当。若手ながら現場代理人として、数億規模の工事の全体管理を担う。

仕事の話になったり、
少し真面目になったり、
気づけば笑いが起きたり。

次にどんな話が出てくるか、
それはサイコロ次第。

成友興業の若手社員5人が、
サイコロトークで語り合いました。

サイコロの目

- ・ 私の推しの人
- ・ 誇らしい瞬間
- ・ 成友興業のここが好き!
- ・ 5年後の自分
- ・ 成長を実感したエピソード
- ・ 入社を決めたとき



1 私の推しの人

- K.K** 自分は現在8年目のTさんかな。入社して最初の現場で一緒だった先輩です。
- N.M** どんところが、推しなんですか？
- K.K** 仕事のことをすごく丁寧に教えてくれる先輩で「なぜこの順番で進めるのか」「ここで何を確認しておくべきか」まで、一つひとつ理由を説明してくれるんです。作業を覚えさせるというより、現場でどう考えて判断するかを、最初から教えてもらいました。
- M.Y** それ、施工管理でとても大事だよな。
- K.K** 現場が終わった日に、「今日はお疲れさま」ってご飯に連れて行ってくれたりして。上司としても人としても、すごく頼れる存在でしたな。



2 誇らしい瞬間

- M.Y** 誇らしい瞬間か...やっぱり、工事が終わって、街に道が通った瞬間です。何もなかった場所が、人や車がちゃんと通る「道」になる。
- K.K** ああ、分かるなあ。
- M.Y** 数年後にたまたまそこを通ったときに、「あ、ここ自分の現場だ」って思えるのが、地味だけど、すごく嬉しいんです。
- N.M** 形として残る仕事ですよな。
- M.Y** はい。自分の仕事が、誰かの日常の一部になっている感じがして、「ああ、この仕事やってよかったな」って思います。



5年後の自分

- M.K** 「5年後の自分」か...環境計量士の資格を取ることが、まず一番の目標です。この仕事は、その資格がないと計量証明書を出せない。化学だけでなく、物理や水質も出るので、ちゃんと勉強しないといけない。
- K.K** 大変そうだな...
- M.K** 正直、大変です。でも、会社に資格取得の制度があって、「取って見たら？」ってちゃんと背中を押してもらえるのも嬉しいですね。
- N.M** 専門性をちゃんと伸ばしてほしい、っていう考えから、サポート体制を整えていますね。資格手当や研修にも今、力を入れているところです。
- M.K** はい。だから「取れたらいいな」じゃなくて、「ちゃんと上を目指そう」って思えるんですよね。5年後には、知識でも判断でも頼られる存在になりたいです。



成友興業のここが好き!

- N.M** 成友興業のここが好き! ...やっぱり、管理本部の方の熱量ですね。本当にすごいんです。
- M.K** あの空気に入ると、気が引き締まりますよね。
- N.M** そうなんです。誰かに何か言われるわけじゃないんですけど、自然と背筋が伸びる感じがあって。でもそれが嫌じゃなくて、ちゃんと仕事に向き合う人が集まっている場所だなんて思えるんです。
- S.S** あと、うちの会社って風通しがいいですよな。何か意見したら、改善のスピードが本当に早い。
- N.M** 「言ったらすぐ変わる」感じ、ありますよね。
- S.S** ありますあります。工場内の危険箇所で「ここ危ないんで、対策したほうがいいと思います」って言ったら、その日の夕方には、もう改善されました。

3



5 誇らしい瞬間

- S.S** NEDO事業*で関わっている、サーキュラーコンクリートの案件です。
- M.Y** CO2削減につながる事業ですよな。
- S.S** そうです。解体で出たコンクリートがらを、そのまま路盤材(RC-40)として使う需要は減ってきていて。そこで、コンクリートの中から石や砂だけを取り出して「再生骨材」にし、もっと価値の高い用途に使えないか、という取り組みです。
- M.K** それを、国の助成事業としてやっているんだよね。
- S.S** はい。国の助成事業なので、正直プレッシャーもありました。でも、自分がチェックしたデータや判断が、「環境負荷を減らす技術」として社会に出ていくと思うと、責任と同時に、すごくやりがいを感じます。
- K.K** それは...誇らしいですね。
- S.S** そうですね。「環境にいいことに、ちゃんと仕事として関わっている」って実感できた瞬間でした。



国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」の重点課題促進スキームで実施。





関東地方整備局 相武国道事務所長表彰 優良工事表彰

難条件を乗り越え、
地域の利便性向上に貢献。

R6国道20号BP改良補修工事

国土交通省関東地方整備局より、地域の利便性向上に向けた取り組みとして表彰され、高い評価をいただきました。施工箇所が3箇所に点在する難しい条件の中でも、工程を守り、計画通りの完成を果たしています。



33歳



東京都建設局 優良工事等局長表彰

地域をつなぎ、交通を円滑に。

街路築造工事及び電線共同溝設置工事 (4北南-西東京3・4・91期)

西東京市と東久留米市を結ぶ「新所沢街道」において、当社は4期連続で受注・施工を担当。最後の未接続区間となる街路築造工事を担い、約5kmにわたる道路の全線接続を実現しました。開通後は周辺道路の交通量が約3割減少し、長年の課題であった交通の円滑化に貢献しています。



51歳

未来を見据え、街の安心を支える。

街路築造工事及び補償代行事 (3北北-東村山3・4・15の2「清瀬橋」)

「2050 東京戦略」の一環として、清瀬市から所沢市を結ぶ都市計画道路「新東京所沢線」の道路整備と調整池設置工事を実施。小金井街道など主要幹線道路の渋滞緩和と地域交通の安全性・快適性向上が期待されます。2026年2月に開通し、当社が開通式を執り行います。



33歳



東京都港湾局 優良工事等局長表彰

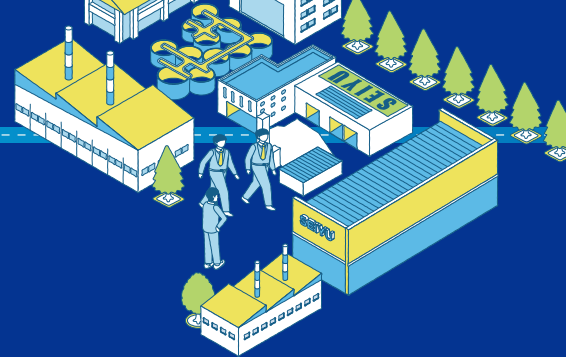
誰もが楽しめる、みどりと生きる公園へ

令和5年度 海の森公園施設整備工事(その3)

東京港のごみ埋立地を美しい森へと再生する「海の森公園」のグランドオープンに向け、インフラ設備及び管理事務所の整備工事を担当。関係会社19社と連携し、安全かつ円滑な施工を通じて、誰もが安心して利用できる公園づくりを実現しています。



33歳



東京都建設局 優良工事等表彰

北多摩北部建設事務所長 優良工事等表彰



37歳

街路築造工事のうち擁壁設置工事 及び 排水管設置工事 (5北北-国分寺3・4・6)



37歳

歩道設置工事 及び 電線共同溝設置工事 (5北北-すいすい三ツ木交差点)その2

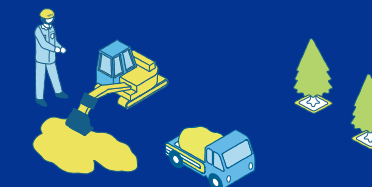


第二建設事務所長 優良工事等表彰



31歳

街路築造工事(5二-放23北沢)



第6回

CCI東京 建設業若手・女性活躍大賞



東京都魅力ある建設事業推進協議会(CCI東京)主催の「第6回 CCI 東京 建設業若手・女性活躍大賞」において、若手活躍大賞に2名、女性活躍大賞に1名が表彰されました。



令和7年度 人材育成優良企業表彰



2025年12月、関東地方整備局より令和7年度人材育成優良企業表彰を受賞しました。この表彰は、建設事業の技能者や若手技術者の確保及び育成に貢献した企業を称えるものです。当社にとっては3回目の受賞となり、今回はあわせて優秀賞(部門別:処遇の改善)も受賞しました。

安全への取り組み

安全規則とドライブレコーダーによる安全教育

自動車で移動する際の規則として「成友興業安全運転規則」、「プロドライバーとしての安全運転10則」を定め、安全運転を徹底しています。安全意識の向上を図ることを目的として、ほぼ全ての車両にAI通信型ドライブレコーダーを設置し、運転状況を記録しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、安全への意識を高めています。

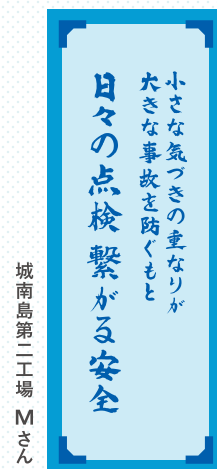
成友興業安全運転規則
・ かもしれない運転の徹底
・ 右左折時最徐行
・ 車間距離 0102
・ バックは急ぐな先ず確認



プロドライバーとしての安全運転10則
1. 法定速度・制限速度の遵守
2. 飲酒運転の禁止
3. 一時停止は止まれ・右左折時最徐行
4. 車間距離の確保 0102
5. 停止車間距離は一車長確保
6. 信号機・黄色は止まれ
7. 停止時はサイドブレーキを確実に引く
8. 無線機の私語は厳禁
9. バックは先を急ぐな先ず確認
10. かもしれない運転の徹底

安全推進大会

年に一度、当社と当社安全衛生協力が共同で安全推進大会を開催しています。社長による訓示や安全表彰、安全標語の表彰の他、外部講師を招いて安全講習を行います。入賞した安全標語はのぼり旗として現場や工場内に掲げることで、注意喚起に役立てています。



優良運転者受賞

弊社社員が中央警察署・中央交通安全協会より感謝状を受領しました。今後も無事故・無違反を継続し、安全運転を徹底します。

防災対策、災害対策協定及び災害時の事業継続計画（BCP）

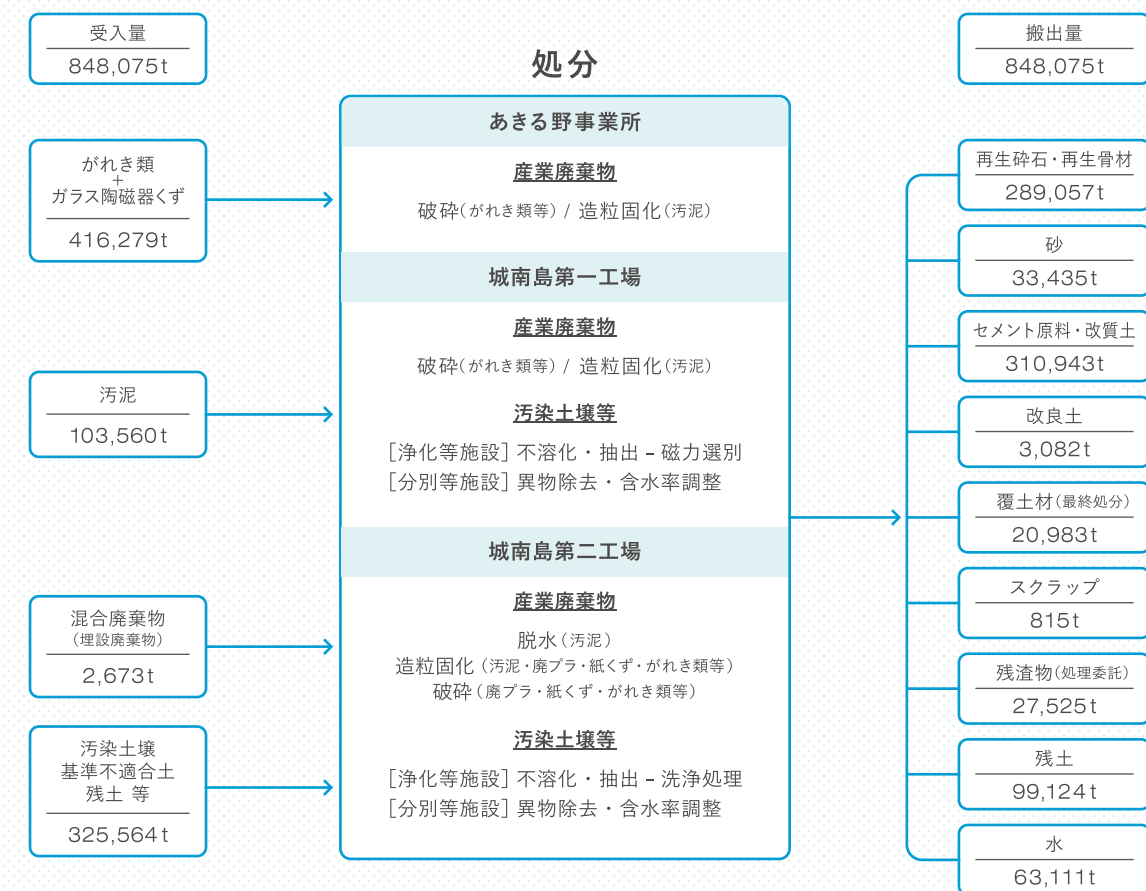
当社は国土交通省関東地方整備局と災害応急対策に関する協定を結んでいます。地震・大雨・大雪等の異常な自然現象や災害が発生した場合に、被害の拡大防止や早期復旧に資する任を担っています。その任を全うするため、事業継続計画（BCP）を策定しています。

緊急時における役割に沿って連絡手段・資機材確保のための訓練を定期的実施し、災害の発生に備えています。また、基礎的な事業継続力が維持できていることの証として、国土交通省関東地方整備局から『建設会社における災害時の事業継続力認定』を受けています。

環境への取り組み

マテリアルバランス

当社プラントでは、電力や燃料などエネルギー資源を消費して事業を行っています。事業活動に伴うエネルギーや、物質の収支を明示することで、事業活動の環境負荷や課題を明らかにすることができます。



リサイクル率
98%

リサイクル率 = {(受入量 - (最終処分量 + 水・減量)) ÷ 受入量}

投入エネルギー
電力 2,891,375 kWh
軽油（重機） 719,672 ℓ
軽油（車両） 643,986 ℓ
水道水 37,595 m³

CO₂ 排出量 4,947 t

CO₂ 排出ゼロの取り組み

・ 2025年4月より、環境事業の3施設で再生可能由来の電力使用を開始しました。※上記データでは対象期間外となります。
・ 城南島第二工場では、太陽光パネルを設置しています。



現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

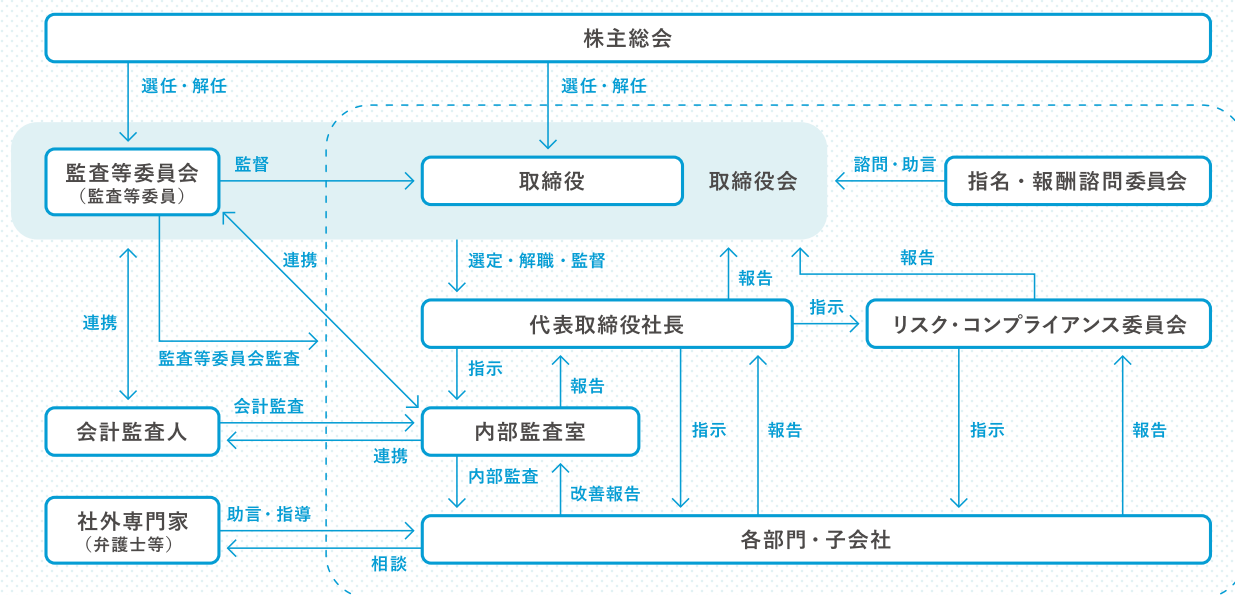
当社は、コーポレート・ガバナンス体制のより一層の強化を図るため、2018年12月20日開催の定時株主総会において、監査等委員会設置会社に移行いたしました。

会社法に基づく機関として、株主総会、取締役会、監査等委員会及び会計監査人を設置するとともに、日常的に事業を監視する役割として内部監査部門（内部監査室）を設置しています。これら各機関の相互連携により、経営の健全性・効率性を確保できるものと認識しているため、現状の企業統治体制を採用しております。



組織形態	監査等委員会設置会社
取締役 (監査等委員である取締役を除く)	取締役の人数 4名 [社外取締役1名 女性取締役1名]
	取締役の任期 1年
	取締役会を原則として毎月1回開催して迅速かつ効率的な意思決定を行うとともに、毎年選任される執行役員が社長の指揮・命令のもと、担当業務の執行を行う体制としています。
監査等委員である 取締役	全監査等委員 3名 [女性監査等委員 2名]
	常勤監査等委員 1名
	社外監査等委員 2名
	取締役会等の重要会議への出席、重要書類の閲覧、社長との定期会議をもつほか、原則として毎月、監査等委員会を開催し監査意見の交換を行っています。また、年間監査計画に基づき、常勤の監査等委員が社内各部門他への往査を行っています。
内部監査	内部監査部門が、業務部門から独立した公正・不偏の立場で内部監査を行い、関係会社を含む内部統制の推進・改善に取り組んでいます。
会計監査	監査等委員会及び内部監査部門とも緊密な連携を保ち、監査計画及び監査結果の報告とともに、期中においても必要な情報交換及び意見交換を行い、効果的かつ効率的な監査を実施しています。
リスク・ コンプライアンス委員会	原則毎月1回開催し、全社的・統括的なリスク管理の報告及び対応策検討の場と位置づけています。
指名・報酬諮問委員会	社外取締役を委員長とする社外取締役3名と代表取締役社長で構成される指名・報酬諮問委員会により取締役の指名及び報酬等に関する手続性の公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレート・ガバナンスの充実に図っております。

コーポレート・ガバナンス体制図



株主・取引先との建設的な対話に関する方針

基本方針

企業価値の継続的な向上を実現するため、効率的かつ公正で透明性の高い経営を推進するとともに、経営監視機能の強化、法令遵守の徹底、迅速かつ正確な適時開示に取り組んでいます。これらを通じて、株主・顧客・社会・従業員など、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼される企業を目指しています。

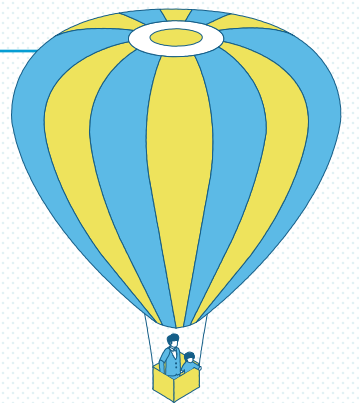
利益配分の基本方針

株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつと考え、今後の株主への剰余金の配当につきましては、業績の推移、財務の状況、今後の事業・投資計画などを総合的に勘案し、内部留保とのバランスを取りながら、配当性向30%程度を目指して、配当による株主への利益還元を安定的かつ継続的に実施する方針です。

1株当たり当期純利益	214.38円
1株当たり当期純利益株 当たり配当金	40.00円
配当性向	18.7%
自己資本利益率	11.70%

2021年11月2日付けでパートナーシップ構築宣言をいたしました。

パートナーシップ構築宣言とは、企業規模の大小に関わらず、企業が「発注者」の立場で自社の取引方針を宣言する取り組みです。「大企業と中小企業が共に成長できる持続可能な関係を構築するために!」の趣旨に賛同し、未来を拓く一助になるように尽力します。





次の50年へ。

社会に資する成友興業グループの挑戦

成友興業株式会社
代表取締役社長

細沼 順人

当社は1975年の設立以来、常に時代の変化やお客様のニーズに応え、環境事業・建設事業を展開してまいりました。2023年10月に名古屋証券取引所への上場を果たし、2025年3月12日には設立50周年という節目を迎え新たなステージへと踏み出しました。

2025年は、建設事業においては株式会社武蔵野トランスポートのM&Aを実施し、多摩地域における事業基盤のさらなる強化とともに技術交流及び相互支援体制の充実を図りました。環境事業においては、9月に吸収分割により東京都青梅市の鉱業権ならびに土砂埋立事業等を取得しました。東京都大田区と多摩地域の拠点で連携を図り、土砂系廃棄物の総合商社として事業拡大を図っております。このような状況下で、2025年9月期のグループ連結売上高ならびに利益は過去最高を達成しました。

一方、国内においては、2025年1月に埼玉県八潮市において発生した道路陥没事故を受けて、老朽化したインフラの課題が改めて浮き彫りとなりました。日本全国の下水道管は総延長約50万kmとされており、耐用年数50年を経過した管は、総延長の7%を占める約4万km(地球1周分)であり、10年後には約10万km、20年後には約21万kmと地球約5周分に匹敵すると見込まれています。

2025年6月に、政府は「第1次国土強靱化実施中期計画」を閣議決定し、今後5年間ににおおむね20兆円強の事業を計画しました。防災インフラや

ライフラインにおいて、当社グループの各事業が担う社会的責任の重要性を認識し、地域社会に貢献していくことを考えています。2025年に新たに策定した「次世代のために、社会に資する。」というパーパスを当社グループ全体で共有・浸透させ、「社会から必要とされる事業」を推進してまいります。

当社グループでは、企業の根幹は「人材」であり、その一人ひとりのエンゲージメントを高め、価値を最大限に引き出すことで持続可能な社会づくりに繋がっていくものと考えております。

上場後、認知度が向上したことで、2025年4月入社の新入社員数は21名と採用活動をスタートさせてから過去最高となりました。建設事業の従業員の平均年齢は30歳と業界平均より約10歳も若くなっています。大学卒業生が大多数を占めておりますが、専門課程以外の卒業生も現場技術者として活躍しています。地域社会への貢献や人々の役に立ちたいとの思いから、インフラ事業と環境事業の両輪に力を入れている点にも興味関心を持っていただいています。私自身、入社後も志高く、正義感が強い、まさに次世代を担う成長著しい若者とともに仕事ができ、非常に心強く嬉しく感じています。

既存事業の高度化を図るとともに、成友興業グループのシナジーを高め、持続可能な社会の実現に貢献するため、グループ全体で一丸となり、地球環境にやさしい都市更新を支えてまいります。



<https://seiyukogyo.co.jp>